

岩槻小だより 梶の二葉



〒339-0057 さいたま市岩槻区本町 5-6-45 TEL048-756-3341
HP <http://iwatsuki-e.saitama-city.ed.jp/>

令和7年度のスタートにあたって

校長 玉川 徹

4月1日、冷たい雨の日、私をはじめ新しく着任した職員を加えた新スタッフ全員で令和7年度がスタートしました。春休みの岩槻小職員室では、1年間を見通した会議、協議そして研修が繰り広げられています。子どもたちのために新年度の準備に余念がありません。4月3日には新6年生が新年度準備を手伝ってくれ、とてもうれしく思うと同時にありがたく思います。

校長室の窓に目をやると、1日から3日まで外は雨。岩槻小のシンボル、大イチョウの木が雨の中、堂々と構え見守ってくれているようでした。桜の花もチラホラと見られた4月のスタートでした。

本年度は、新たに71名の新入生と、私を含めた14名の転入職員を迎え、全校児童409名、全教職員46名で、4月8日、令和7年度がスタートします。

この度、私は、岩槻小の発展にご尽力されました 中島 悟 校長の後任として着任いたしました。歴史と伝統のある岩槻小に開校以来関わってこられた多くの諸先輩方の想いを受け継ぎ、岩槻小に関わるすべての方々の笑顔と幸せのために、微力ではありますが全力を尽くす覚悟です。

「子どもの健やかな成長を願う」という根本的な思いは、教職員も保護者も地域の方々も同じであると思います。三者がこの思いを共有し、互いに信頼し合い、共に手を携え、心を一つに合わせていく『共育』が、子どものよりよい成長につながるものと信じています。だからこそ、よりよき岩槻小をつくっていきましょう！と、岩槻小に関わる全ての方々が当事者意識をもって、それぞれが笑顔で幸せになれる学校づくりができたらしと思っています。

学びの主体である子ども自らが自分の学校をつくる。
保護者が自分の子どもが学ぶ学校をつくる。
地域の方々が地域の宝が学ぶ学校をつくる。
教職員は自分が笑顔で働ける学校をつくる。
子どもが明日の授業を楽しみにする学校をつくる。



そんな、想いです。自分がつくる自分の学校はみんなが大事にします。学校は「ある」ものではなく、変わりゆく社会のニーズを先取りしながら「つくる」ものでありたいと考えます。そして、10年後、20年後の社会で生きていく子どもたちを育てていきたいと思っています。

本日は1学期の始まりであると同時に令和7年度1年の始まりでもあります。どの子どもにとっても、春は期待と希望、そして不安の入り混じった気持ちであると思います。入学、進級によって学年が一つあがるということを不安ではなく、期待と希望でいっぱいにしていきたい！そんな想いでいます。

さあ、子どもたちと共に歩む令和7年度のスタートです。

今年度も、「豊かな心をもち、自己の能力(よさ)を最大限に発揮できる、心身共に健全な子どもを育成する」を学校教育目標に掲げ、子ども一人ひとりをよく観て、子どもの心により添いながら、確かな学力と豊かな心、健やかな体をはぐくんでまいります。学校、家庭、地域どれもが子どもたちを成長させる大切な教育環境です。それぞれの視点から子どもの成長を見守り、互いに力を合わせて子どもたちの成長を見守っていただければと思います。保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。本年度もどうぞよろしく願いいたします。